

目 次

〔I〕

1. 学生とともに創った「親子のためのわらべうた活動」の一年間
——大学における教育実践の研究——……………尾 見 敦 子 …… 1
2. 保育者養成学生の動物との関わりについて
——動物への対応と幼児への援助について——
……………栗 原 泰 子・野 尻 裕 子 …… 27
3. 幼児の穴掘り遊びの発達の検討
……………箕 輪 潤 子 …… 39

〔II〕

4. 制度としての無責任
……………石 井 龍 一 …… 55
5. 滝沢克己と『歎異抄』(I)
——「インマヌエルの原事実」と「弥陀の本願」——……………西 岡 祥 文 …… 69
6. Reconsideration of *Some and Any*
……………田 中 実 …… 83

〔III〕

7. 国民健康づくり—新健康フロンティア
……………坂 口 武 洋・坂 口 早 苗 …… 97
8. ドイツにおける労働組合の「ジェンダーの主流化」の課題
—— DGB 女性部の取り組みを中心に——……………柚 木 理 子 …… 129
9. 食育推進に関する施策
……………阿 部 祐 加 子・金 武 由 利 子・永 嶋 久 美 子 …… 147

〔IV〕

10. 現代語の終助詞「さ」の機能に関する考察
……………長 崎 靖 子 …… 173
11. ハーヴィ・コックスと彼の業績
……………野 村 文 子 …… 187
12. 『たまきはる』における夢の表象
……………今 関 敏 子 …… 1(212)